

令和7年度博物館事業の実施状況について

- 1 企画展開催結果等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～6 ページ
- 2 令和7年度展示活動室（通常展示）の展示概要・・・・・・・・・・ 7～8
- 3 令和7年度博物館利用者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 4 鳥取県立博物館におけるインターネット関連広報について・・・・ 10～12
- 5 鳥取県ミュージアム・ネットワーク関連・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 6 令和7年度資料収集等の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14



## 企画展「とっとりの藩と城」の開催結果について

展覧会名	企画展「とっとりの藩と城」
会 期	令和7年5月1日（木）～6月29日（日）〔休館日7日を含む60日間〕
会 場	鳥取県立博物館 1階 展示活動室 三ノ蔵
主 催	鳥取県立博物館

### 1 事業概要

令和7年（2025）3月、倉吉市に鳥取県立美術館が開館し、同年5月、当館は自然史、歴史・民俗、美術工芸の総合博物館として新たなスタートを切る当館では、旧美術展示室を模様替えし、新たに鳥取の歴史・自然を象徴する「鳥取城跡」とその城山である「久松山」を核とした、総合的な企画展示「とっとりの藩と城」を開催した。展示では、鳥取藩や鳥取城の歴史や文化、国内屈指の大家文書“鳥取藩政資料”や旧藩主池田家ゆかりの美術工芸品のほか、久松山の地質や生物相を紹介した。

### 2 開催結果

#### (1) 企画展入場者数

通常展入館料で観覧可能であったため、通常展入館者としてカウントした。

#### (2) 関連行事

展示内容にあわせ、子ども向け講座、一般向け概説講座を開催した。

- ① 5/5（月・祝）子どものための刀剣・甲冑講座（小学生以下対象）
- ② 5/18（日）鳥取城入門講座（一般対象）
- ③ 6/8（日）鳥取城探検隊（小学生以下対象）

#### (3) 観覧者の声

通常展全体のアンケートで回答いただいたため、企画展個別の評価ではないが、意見を集約すると概ね「大変よい」「よい」の意見が多かった。

- ・美術部門を切りはなし、自然・人文で充実した内容にリニューアルされており、感動しました。
- ・お宝がたくさん展示されていて見ごたえがあった。鳥取の歴史を知れて良かった。
- ・ユーモアある説明文面白かったです。
- ・パネルがとても分かりやすかった！！おもしろかった！
- ・鳥取県は安綱等の刀剣大国であり鳥取藩も浜辺兼先等の有名刀工も多くもっと全国にアピールすべき。刀剣展等あれば全国から刀剣女子等涙を流しながら見えています。

#### (4) 展示風景（開幕日、知事来館、ギャラリートーク）



## 企画展「とことん！昆虫展」の開催結果について

展覧会名	企画展「とことん！昆虫展」
会 期	令和7年7月12日（土）～9月15日（月・祝）〔休館日8日を含む66日間〕
会 場	鳥取県立博物館 2階 第1・第2特別展示室
主 催	昆虫展実行委員会（鳥取県立博物館・日本海テレビジョン放送株式会社）・読売新聞社

### 1 事業概要

全生物種のほぼ半数（世界から110万種以上）という驚異的な多様性をもつ昆虫について、大型模型やハイスピードカメラによる高精細映像、体験型展示で昆虫のおもしろさを体感するとともに、当館や地域の専門家が所有する日本や世界各地の昆虫標本、さらには生きた昆虫の生体展示を通してその多様性を紹介した。加えてテレビ等への出演でも有名な丸山宗利先生（九州大学総合研究博物館 准教授）による講演会も行い、昆虫についてより深い学びの場を提供した。

### 2 開催結果

(1) 企画展入場者数：33,618人（目標 20,000人） ※入場者数歴代4位

当初の入場者数の目標を大きく上回る歴代4位の記録となり大盛況の企画展となった。子どもに人気のある体験型展示や昆虫の生体展示だけでなく、専門的な調査や研究についても標本とともに解説することで、より広い世代が楽しむことのできる企画展になった。本企画展の成果と課題として次の点があげられる。

- アンケート結果：来館者アンケート（395件、回答率1.2%）では、「大変よかった・よかった」と回答された方が97.9%（大変よかった79.2%・よかった18.7%）であり、来館者の満足度は極めて高かった。
- 展示内容の変更：本企画展は大阪（ひらかたパーク 2023年春）、滋賀（佐川美術館 2023年夏）から続く巡回展であったが、鳥取会場で開催するにあたり、企画展名を関西風の「めっちゃ！昆虫展」から「とことん！昆虫展」に変更した。巨大模型や映像、パネル解説が中心だった展示に、昆虫標本約1万点を加えることで、資料を持つ博物館の魅力がより伝わる展示とした。展示物や解説パネル、展示構成も大きく変更したことで、子どもから大人まで楽しめる展示にすることができた（アンケート3）。
- 体験型展示の追加：巡回展にあった体験型展示は「巨大ゴキブリホイホイに入ってみよう♪」しかなかったが、鳥取会場では新たに2つの体験型展示を追加した。  
棒にしがみついてセミになった気分を体験する「セミになろう！」は子どもに大人気で、何秒間しがみついているか競いあって楽しんでいった（アンケート9、写真4）。  
大学や企業と共同で作成したソフト「3Dデジタル昆虫図鑑」は、タッチパネルを自ら操作しながら昆虫の体を360度あらゆる方向から観察することのできる展示で、多くの子どもが夢中になって操作していた。体験型展示をやりたくて何度も訪れているリピーターの家族も多かった（写真5）。  
「巨大ゴキブリホイホイに入ってみよう♪」は巡回展であったが、新たにゴキブリのコスプレ衣装を用意した。多くの来場者が衣装を着てホイホイに入り写真を撮っており、展示の魅力増大につながるとともに、SNS等での情報拡散効果もあったと考えられる（アンケート7-9、写真6）。
- クイズラリー：難易度を2段階に設定したクイズラリー（鳥取会場オリジナル）を設置し、より積極的に展示標本を見てもらう仕掛けを施した。当館の自然史企画展では毎回実施しているが、今回も大変好評で幅広い世代に楽しんでいただけた（アンケート5）。
- 地域の活動「蟲部」紹介：「蟲部」は当館の学芸員や地域の専門家が顧問となり、県内の小・中・高等学校の児童生徒が部員となって、地域の昆虫調査や発表を行っている活動である。企画展では各部員の研究発表を展示したが、展示を見た来館者から入部の希望があったり、活動へのお褒めの言葉もいただいたりした（アンケート10）。

- **大学との連携展示**：展示期間の終盤に公立鳥取環境大学で「昆虫食」の普及活動をしている団体から展示依頼があり、急遽展示室内にブースを設置して昆虫食の展示を行った。昆虫食は巡回展示に入っていた内容だったが、鳥取会場では展示できていなかった。大学との連携によって追加で昆虫食に関する展示を行うことができた（写真7）。
- **壁一面の昆虫標本展示**：地域の専門家から6,000点を超す昆虫標本をお借りして壁一面に設置する展示を行った。東京大学総合研究博物館などでも行われている展示手法で、昆虫の種数の多さを体感してもらうために高い位置にも標本を設置していたが、遠くて見えづらいとの声があった。展示手法の課題として今後検討したい（アンケート12）。

## (2) 関連行事

- ・講演会「昆虫博士にきいてみよう♪ 図鑑づくりや昆虫調査のこと」【講師：丸山宗利 先生（九州大学総合研究博物館 准教授）、開催日：8/11（月・祝）、来場者数：約200人】：丸山先生から熱帯ジャングルや砂漠での昆虫調査や図鑑づくりの苦勞についてご講演いただくとともに、会場からの質問タイムも設けたことで、子どもたちからたくさんの質問があり大いに盛り上がった。終了後は丸山先生のご著書や図鑑にサインを求める来場者の長い行列ができるほどであった（写真8）。

## (3) 主な反響（入場者アンケートから）

- ・子どもたちが充分楽しめる内容だった。遠路はるばる来たかいたがあった。また次回も開催してほしい。
- ・ありとあらゆる昆虫を美醜等で区別せず展示されていて勉強になったし、愛を感じた。
- ・子どもも楽しめる所もあれば、ちゃんとした説明も書かれている部分もあり、どの年齢でも楽しめると思った。
- ・学芸員さんの新種発見までのエピソード、私もキノコの新種を発見したりしていたので・・・すぐDNA解析せず形態的特徴から新種かも？と思うのは、すごく当たり前だけど大切なことだと思った。
- ・展示物から答えを得られるクイズがあることで展示をより深く理解し、楽しめるようにしていた所が良かった。以上のことで収集家たちの集めた昆虫をじっくり見ることができたと思う。
- ・15人の児童を引率してきたが、学年に関わらず全ての児童が興味を持ち、時間を忘れて過ごすことができた。
- ・タガメが鳥取城の近くから採集記録があるのにはおどろきました。うらやましい！大きなゴキブリホイホイの展示めっちゃいい！！
- ・スーパースローの動画がおもしろかったです！ゴキブリの衣装すごくかわいかったです。
- ・ゴキブリになれたり、セミになれたりしていい体験ができたてよかった。
- ・蟲部があることをはじめて知った。好きな子たちがどんどんふえるとうれしい。
- ・大きな模型が良かった。高齢の母が昔をなつかしみ大変たのしい時間を過ごせた。
- ・標本が上の方に展示されているものは見づらかった。何かしらの工夫がほしい。
- ・博物館入り口の飲食店の「営業中」の赤い旗（のぼり）があまりにもかっこ悪い。ミュージアムとしてやめた方が良かったと思った。
- ・駐車場をどうにかしてほしい。

▼展覧会の様子



写真1：第1特別展示室（ハイスピードカメラ映像など）



写真2：第2特別展示室（世界の昆虫生体展示など）



写真3：第2特別展示室（採集道具など）



写真4：セミになろう（体験型展示）



写真5：3Dデジタル昆虫図鑑（体験型展示）



写真6：巨大ゴキブリホイホイ（体験型展示）



写真7：公立鳥取環境大学の団体による昆虫食の展示



写真8：講演会で子どもの質問に答える丸山先生

## 企画展「大カプコン展 ―世界を魅了するゲームクリエイション―」の開催結果について

展覧会名	企画展「大カプコン展 ―世界を魅了するゲームクリエイション―」
会 期	令和7年10月19日（日）～12月7日（日）〔休館日7日を含む50日間〕
会 場	鳥取県立博物館 2階 第1・第2特別展示室
主 催	大カプコン展実行委員会（鳥取県立博物館・日本海テレビジョン放送株式会社）・読売新聞社

### 1 事業概要

本展示では、日本を代表するゲームメーカーであるカプコンのゲーム制作の歴史と最新技術について紹介した。40年以上の歴史があるカプコンのゲーム制作は、日本のデジタルゲームの歩みとも重なるものであり、文化史・技術史の視点からみたデジタルゲームについて来館者に理解を深める機会を提供した。

### 2 開催結果

(1) 企画展入場者数 17,802人（目標 35,000人） ※秋冬シーズン企画展 歴代3位

カプコンの人気キャラクターを前面に押し出した広報により、普段は博物館に足を運ぶことが少ない人々からも広く関心を集めることができ、博物館の魅力を多くの人に認識して頂けたと考える。本企画展の成果と課題として次の点があげられる。

- 来館者アンケート（664件、回答率3.7%）では、大変よかった・よかったと回答された方が97.9%（大変よかった80.6%・よかった17.9%）であり、来館者の満足度は極めて高かった。
- 単なるゲームの作品内容の展示ではなく、文化としてのゲーム史やデジタル技術についても学ぶことができる、楽しさと学びが共存する展覧会となった。
- 来館者アンケートには、大阪・名古屋・東京などの都市圏でも開催される展覧会が、鳥取で開催されることを喜ぶコメントが多数みられた。
- 鳥取会場は大カプコン展の巡回先でも最も西に位置する会場であったこともあり、県外からも多数の来館者があった。全回答に対して30.3%が県外からの来館と回答したが、その中でも三分の一（8.6%）は近隣県以外からの来館である。
- カプコンのゲームを数多く遊んだ20～40代世代から、作品を懐かしむ声が数多く聞かれた。実際にアンケートの年齢構成では、通常の企画展では割合が大きくない30代・40代の来館者が過半数を占めていた。
- 会場には多くの体験コーナーがあり、フェイシャルトラッキングやモーションキャプチャーなどの最新のゲーム制作で使用される技術を体験することができた。アンケートでも体験コーナーを評価するコメントが散見された。
- カプコンが保管している名作ゲームの企画書・ポスター・設定画・ラフスケッチなど、貴重な資料を展示することができた。
- フォトスポットが数多く設置され、SNSを介して会場の様子が拡散された。また、鳥取会場のXアカウントでは、展示内容だけでなく様々な情報を発信し反響があった。くわえて、開幕前日に行われたギャラリートークイベントの参加者たちが、リピーターとして何度も会場に運び展示の見所や魅力を発信したため、SNSを見て来館した人も多かった。
- 展示内で戦国時代をモデルにした「戦国時代BASARA4」の展示があり、そこに鳥取県ゆかりの武将である山中鹿之介が登場していたため、コラボ企画として特別展示コーナーを設置した。企画展の入場者に常設展示室も観覧してもらえるような展示内容にした。
- 休日は1,000人近い来館者が訪れたこともあり、駐車場の不足についての意見があった。また、人気声優による音声ガイドが利用されていたが、個人のスマートフォンでアプリケーションをダウンロードするものであったため、特別展示室のWi-Fi環境の整備を求める声があった。
- 展示のボリューム上仕方ないことではあったが、展示室が局所的に過密になり、ゆっくり観覧できなかったという声もあった。

## (2) 関連行事参加者数

- ・「特別先行公開！大カプコン展ギャラリートーク」（10月18日（土））参加者 27名

※このイベントは担当プロデューサーの牧野氏による開幕前の特別ギャラリートークで、SNSでの情報発信を参加条件とした

## (3) 主な反響（入場者アンケートから）

- ・無料な上にアクティビティや展示も充実していて楽しかった。CAPCOMを知らない人でも楽しめる内容だと思った（回答者は大学生以下か70歳以上の方）。
- ・ゲームに詳しくないが、クリエイターの方のインタビューや体験がおもしろかった。
- ・家庭用ゲームの歴史と現在のゲームに使われている技術の展示、開発中の資料など普段見られない展示があったこと、それが鳥取県の博物館でみられたことが良かった。
- ・大好きなカプコン作品の展示が見られてよかった。
- ・元々ゲームが好きなので、1つの企業のゲーム作品をこれでもかと詰め込んだ空間が非日常でとても良かった。
- ・今回の展示で様々な親子が子ども時代の体験や思い、遊んでみたいといった声が聞けた。カプコンそしてゲームの歴史を肌で感じた。
- ・地元でこのような熱量のあるサブカルチャー系展示会があるのが嬉しかった。同様の展示等イベントにも期待したい。
- ・こういった催しは大体、東京か大阪しか開催しないので地元で見ることができてとてもうれしかった。今後もこういった企画を期待する。
- ・車で来て止める所が無かった。
- ・Free Wi Fiにうまく接続出来なかった。

## ▼展示会の様子



## 令和7年度 展示活動室（通常展示）の展示概要

### 一ノ蔵 とつとりの自然史

#### ■「今月の誕生石」コーナー

※令和7年8月より新設した。

令和7年8月9日～31日	8月「ペリドット」	田邊主任学芸員
令和7年9月1日～30日	9月「クンツァイト」	
令和7年10月1日～31日	10月「トルマリン」	
令和7年11月1日～30日	11月「トパーズ」	
令和7年11月30日～12月26日	12月「ラピスラズリ」	
令和8年1月6日～31日	1月「ガーネット」	

#### ■「活動ラボ」利用状況

※令和7年5月の再オープンに伴い新設した。

※「県民協力等対象団体」（鳥取地学会、鳥取県生物学会等）をおもな対象とし、当館学芸員と共に標本作製や標本整理、調査研究活動、普及活動等を行う場として利用。

※上記利用がない時は一般来館者が配架図書の閲覧等に利用することができる。

	鳥取地学会 「化石部」*1	鳥取県生物学会 「蟲部」*1	骨格標本作製 活動*2	その他	合計	
					回数	人数
5月	2回／8人		1回／10人	1回／12人	4	30
7月	1回／1人	6回／36人			7	37
8月		14回／82人			14	82
9月		4回／17人			4	17
10月				1回／5人	1	5
11月	7回／10人	2回／11人	1回／6人		10	27
12月			2回／10人		2	10

\*1 県民協力等対象団体。

\*2 鳥取大学・鳥取環境大学の学生らと共に脊椎動物遺体の標本作製を行っている。

## 二ノ蔵 とつとりの歴史と民俗

### ■「歴史の窓」

令和7年5月1日(木)～8月17日(日)	「ぢげのもん大集合」	歴史・民俗担当
令和7年8月19日(火)～11月24日(月)	「次世代に残したい米袋」	樫村主幹学芸員
令和7年11月26日(火)～令和8年3月1日(日)	「石にこめられた願いー因幡の礫石経ー」	酒井主任学芸員

## 三ノ蔵 とつとりの藩と城

※令和7年5月の再オープンに伴い新設した展示室。

※第1期から第5期まで2ヶ月おきに展示替えを行い、第1期を企画展として開催した。

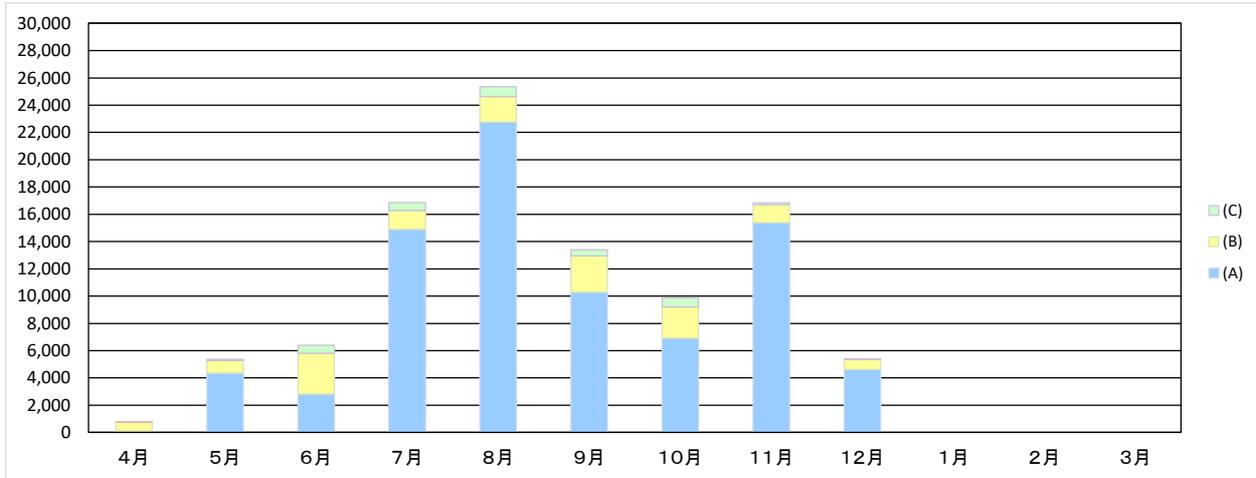
※国内屈指の大家文書“鳥取藩政資料”や旧藩主池田家ゆかりの大名道具、絵画など美術工芸品を用い、鳥取県を形づくった鳥取藩や鳥取城の歴史や文化を紹介した。あわせて、久松山の自然についても紹介した。

企画展(第1期)	令和7年5月1日(木)～6月29日(日)	自然史・歴史民俗・美術担当で協力して行った。
第2期	令和7年7月9日(水)～8月31日(日)	
第3期	令和7年9月10日(水)～11月3日(月・祝)	
第4期	令和7年11月13日(木)～令和8年1月4日(日)	
第5期(開催中)	令和8年1月14日(水)～3月8日(日)	

# 令和7年度 博物館利用者の状況

【鳥取県立博物館利用者数】

<令和7年12月31日現在>



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考	
来館者	常設展	(3,870) 0	(3,875) 4,121	(1,946) 2,605	(1,997) 4,091	(3,044) 5,638	(2,120) 3,769	(3,651) 2,893	(3,413) 3,989	(1,130) 1,696				(25,046) 28,802	
	企画展	(23,301) 0	(17,670) 0	(283) 0	(2,776) 0	(3,437) 10,572	(0) 6,420	(15,098) 3,837	(8,228) 11,283	(2,623) 2,682				(73,416) 51,420	
	普及活動(館内)	(361) 38	(110) 154	(242) 146	(348) 153	(317) 420	(74) 50	(47) 143	(75) 70	(169) 206				(1,743) 1,380	
	研究相談	(7) 53	(18) 75	(4) 75	(8) 71	(8) 69	(6) 54	(5) 44	(19) 52	(13) 32				(88) 525	
	小計(A)	(27,539) 91	(21,673) 4,350	(2,475) 2,826	(5,129) 14,887	(6,806) 22,753	(2,200) 10,293	(18,801) 6,917	(11,735) 15,394	(3,935) 4,616				(100,293) 82,127	
	県展・ジュニア県展	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(3,682) 1,424	(0) 1,110	(0) 0	(0) 0				(3,682) 2,534	
	貸館利用者数	(0) 0	(980) 70	(3,207) 2,238	(317) 233	(362) 174	(37) 281	(57) 359	(146) 156	(127) 92				(5,233) 3,603	
	ミュゼ利用者数	(2,188) 658	(1,605) 866	(784) 757	(664) 1,151	(1,033) 1,700	(972) 945	(1,342) 813	(996) 1,145	(652) 630				(10,236) 8,665	
	小計(B)	(2,188) 658	(2,585) 936	(3,991) 2,995	(981) 1,384	(1,395) 1,874	(4,691) 2,650	(1,399) 2,282	(1,142) 1,301	(779) 722				(19,151) 14,802	
	総来館者数	(29,727) 749	(24,258) 5,286	(6,466) 5,821	(6,110) 16,271	(8,201) 24,627	(6,891) 12,943	(20,200) 9,199	(12,877) 16,695	(4,714) 5,338				(119,444) 96,929	
普及活動(館外計)(C)	(134) 15	(1,117) 75	(1,645) 582	(1,029) 589	(458) 737	(1,407) 447	(151) 668	(167) 150	(76) 52				(6,184) 3,315		
博物館利用者総計	(29,861) 764	(25,375) 5,361	(8,111) 6,403	(7,139) 16,860	(8,659) 25,364	(8,298) 13,390	(20,351) 9,867	(13,044) 16,845	(4,790) 5,390				(125,628) 100,244		

上段の( )は前年度

## <企画展別入館者数>

令和6年度	
企画展名	入館者数(人)
古代エジプト美術館展	40,971
アートって、なに？	6,496
ネコ ～にゃんと！ケールなハンターたち～	23,134
幕末土佐の天才絵師 絵金	4,428
計	75,029

令和7年度	
企画展名	入館者数(人)
とことん！昆虫展	33,618
大カブコン展	17,802
計	51,420

## <主な貸館による入館者数>

令和6年度	
企画展名	入館者数(人)
第51回山陰書人社展	709
第63回麒麟のまち鳥取市美術展	1,897
日本伝統工芸中国展	1,141
第68回県展	3,682
第48回鳥取書道連盟展	548
第22回ジュニア県展	2,094
あいサポートアートとっとり展	1,244
計	11,315

令和7年度	
企画展名	入館者数(人)
第64回麒麟のまち鳥取市美術展	2,096
第69回県展	2,534
計	4,630

# 鳥取県立博物館におけるインターネット関連広報について

## 1. とりネット（ホームページ）による広報

企画展の情報を適宜更新する他、常設展示の内容などをまとめている。収蔵資料データベースは、令和3年3月1日から、県立4館合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」にデータを移管して公開している。

《鳥取県立博物館ホームページのアクセス数の推移》

R6年12月～R7年12月

※博物館トップページのアクセス数のみ。Facebookから直接、企画展等のリンクに飛んだ場合はカウントされていない。

	絵金展	貸館	閉館2/17～	閉館中	閉館中	藩と城展	市展	昆虫展		県展	カブコン展		
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HPアクセス数 (トップ画面閲覧数)	8,144	8,006	7,152	8,038	8,706	10,021	8,957	12,685	15,907	11,698	12,994	12,650	8,960



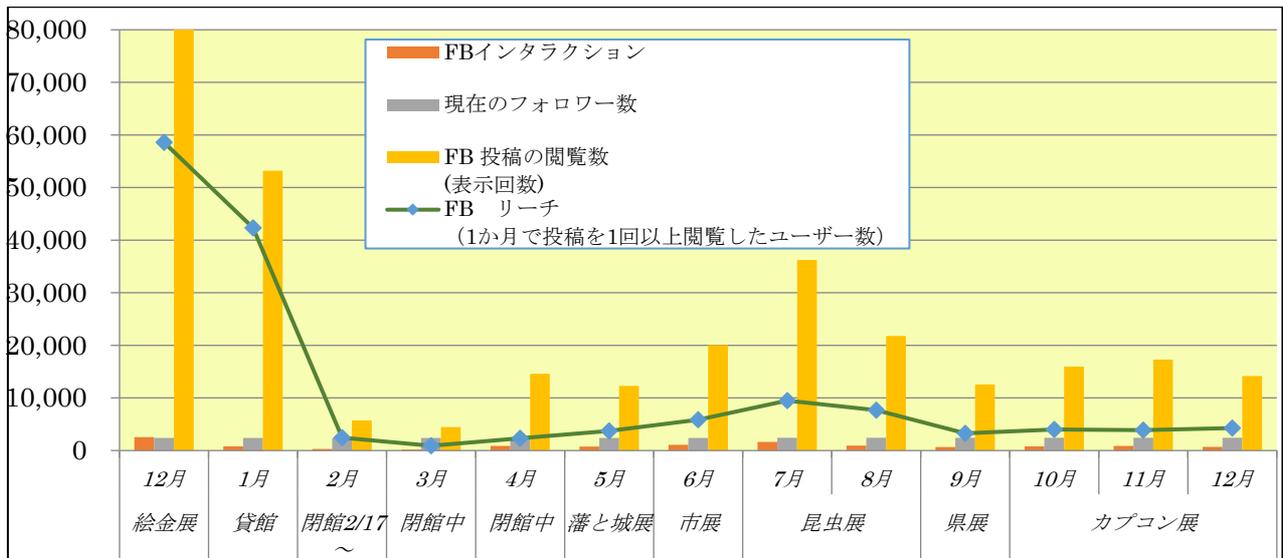
■HPアクセス数  
(トップ画面閲覧数)

## 2. SNS (Facebook) による広報

平成28年9月より鳥取県立博物館のFacebookの運用を開始。投稿内容は、企画展情報や普及講座の参加募集・実施状況の他、マスコミへ資料提供など、博物館利用者へ情報を拡散したいものとしている。また、令和7年5月よりInstagramの運用を（美術部門学芸チームのInstagramは美術館に移管）、令和3年12月からTwitterの運用を開始した。

	絵金展	貸館	閉館2/17～	閉館中	閉館中	藩と城展	市展	昆虫展		県展	カブコン展		
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
投稿数	20	6	4	0	16	13	22	38	23	17	28	31	10
FBリーチ (1か月で投稿を1回以上 閲覧したユーザー数)	58,582	42,334	2,447	903	2,338	3,739	5,848	9,478	7,673	3,278	3,987	3,869	4,270
FBインタラクション	2,532	774	308	168	865	748	1,094	1,640	929	654	787	870	700
新規フォロワー	111	3	3	2	0	2	10	9	9	3	2	10	6
現在のフォロワー数	2,377	2,380	2,383	2,385	2,385	2,387	2,397	2,406	2,415	2,418	2,420	2,430	2,436
FB投稿の閲覧数 (表示回数)	110,622	53,187	5,725	4,462	14,578	12,291	20,041	36,219	21,789	12,561	15,957	17,284	14,165

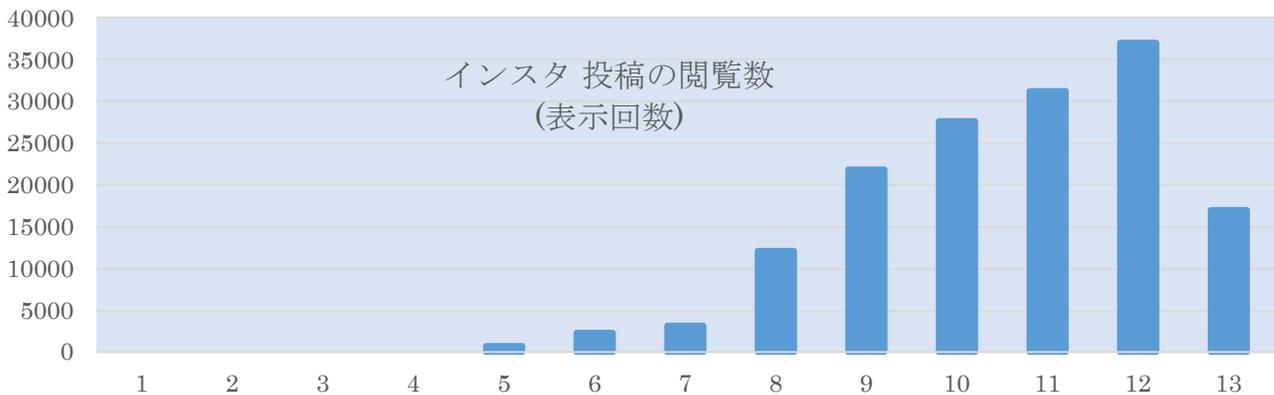
《鳥取県立博物館Facebookページのアクセス数の推移》 (リーチが多かった記事)



## 2-2. SNS (Instagram) による広報

フォロワー数 614 (令和8年1月6日時点)

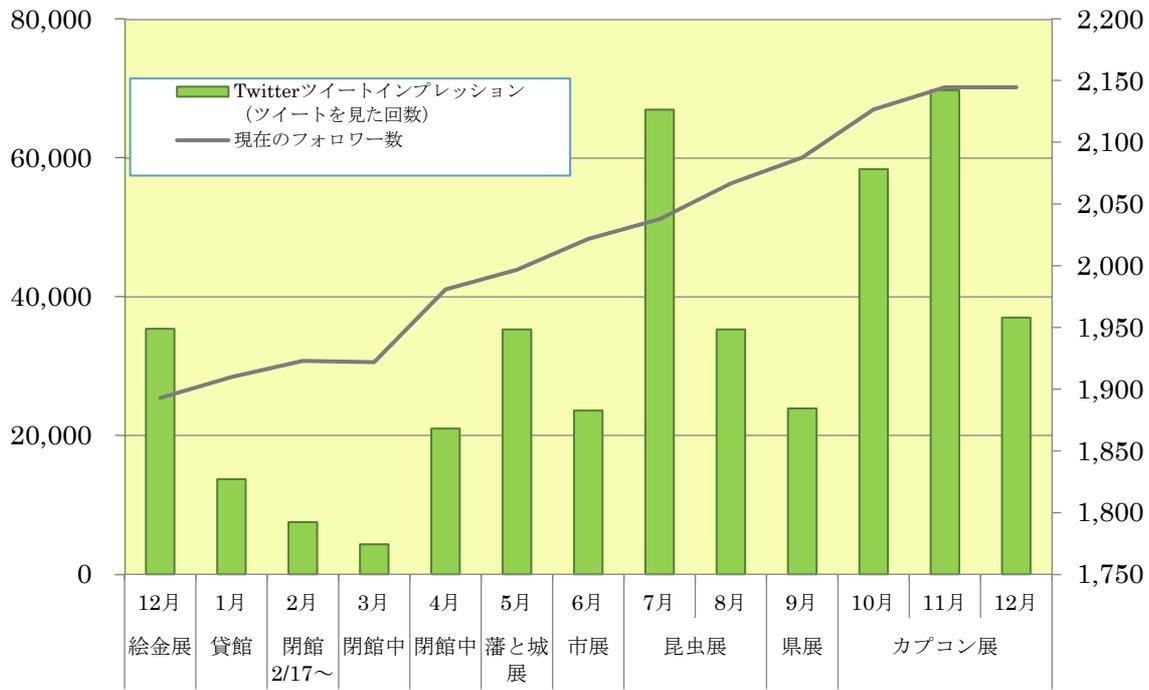
	絵金展	貸館	閉館2/17~	閉館中	閉館中	藩と城展	市展	昆虫展	県展	カブコン展			
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
インスタ投稿数					12	7	14	29	6	7	10	10	8
インスタ投稿の閲覧数 (表示回数)					719	2,318	3,145	12,133	21,890	27,678	31,285	37,085	17,028
IGリーチ数 (配信によるリーチ数)					236	109	424	1,048	963	1,076	1,355	1,058	1,191
IGインタラクション					85	129	210	570	176	137	231	218	154
IG新しいフォロワー						27	91	126	86	74	41	74	41
現在のフォロワー数					50	77	168	294	380	454	495	569	610



## 2-3. SNS (Twitter) による広報

フォロワー数 2144 (令和8年1月6日時点)

	絵金展	貸館	閉館2/17~	閉館中	閉館中	藩と城展	市展	昆虫展	県展	カブコン展			
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ツイート数	22	7	6	0	11	30	17	37	17	21	19	22	12
Twitterツイートインプレッション (ツイートを見た回数)	35,400	13,700	7,500	4,300	21,000	35,300	23,600	67,000	35,300	23,900	58,400	69,800	37,000
新しいフォロワー	24	17	13	-1	59	16	25	16	29	21	39	18	0
現在のフォロワー数	1,893	1,910	1,923	1,922	1,981	1,997	2,022	2,038	2,067	2,088	2,127	2,145	2,145



## 鳥取県ミュージアム・ネットワーク関連

### 令和7年度 鳥取県ミュージアム・ネットワーク研修会

災害現場における博物館等の実践について、令和6年度鳥取県ミュージアム・ネットワーク研修会では「文化財防災マニュアルを読み込む」として、マニュアル文化財防災マニュアル作成に携わった修復家秦博志さん（HATA Studio代表）にマニュアルの意義と災害現場での実践について解説いただきました。今回はテーマを継続し、中尾真梨子氏（奈良県立橿原考古学研究所保存科学センター主任研究員）を講師として迎え、平成23年の東日本大震災翌年から10年間、福島県で被災資料の修復を手掛けた経験を踏まえて災害現場での実践について解説いただく予定です。また鳥取県埋蔵文化財センターが所有する真空凍結乾燥機の現地説明会も行います。

- 1 日時 令和8年3月6日（金） ①講演会 午後1時30分から午後3時まで  
②見学会 午後3時30分から午後4時30分まで

2 場所 鳥取県立博物館講堂及び鳥取県埋蔵文化財センター秋里分室

3 内容

#### （1）講演（鳥取県立博物館）

テーマ： 「水没古文書等の簡易的な凍結乾燥法―震災対応の経験を踏まえて―」

講師： 奈良県立橿原考古学研究所 保存科学センター 主任研究員 中尾真梨子 氏

#### （2）見学会（鳥取県埋蔵文化財センター秋里分室）

内容： 鳥取県埋蔵文化財センター所有の凍結乾燥見学

解説： 鳥取県埋蔵文化財センター職員

4 参加対象

鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館および関係機関、市町村所管課

## 令和7年度 資料収集等の状況について

### 1 博物館資料保有状況

部 門	前年度末 保有点数	本年度中増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,634							8,634
動 物	9,332							9,332
昆 虫	27,299							27,299
植 物	59,515							59,515
歴 史	62,851							62,851
近現代	8,414							8,414
民 俗	4,449							4,449
考 古	8,295							8,295
美 術	929		8					937
合 計	189,718	0	8	0	0	0	0	189,726

### 2 寄贈資料

部 門	資 料 名
美 術	片山楊谷《龍虎図屏風》2点、根本幽峨《東下り図》他7点